

5. 職員定期健康診断

1) 日程

検査日	時 間	対象部局	対 象 者
5月9日(木)	6:45~8:30	附属幼稚園 附属小学校 附属中学校	全 員
7月29日(月) ~8月9日(金)	8:15~	附属特別支援学校	全 員
9月3日(火)	8:30~10:45	「研究交流部、三陸復興推進機構」以外の全部局 全部局(割り当てられた日時に受診ができない方)	女性職員
	10:45~11:00		男性職員
9月4日(水)	8:30~10:45	上 田 キ ヤ ン パ ス 周 辺 人文社会科学部 教育学部 役員 総務企画部 情報技術室 評価室 学務部 大学教育総合センター 教員養成機構 国際交流センター 保健管理センター 平泉文化研究センター	男性職員
	10:45~11:00		女性職員
9月5日(木)	8:30~9:15	研究交流部 三陸復興推進機構	女性職員
	9:15~11:00		男性職員
9月6日(金)	8:30~10:45	工学部 附属融合化ものづくり研究センター 金型技術研究センター 鋳造技術研究センター 複合デバイス技術研究センター 附属ソフトパス工学総合研究センター ものづくりエンジニアリングファクトリー 地域防災研究センター 地域連携推進センター 工学系技術室 財務部	男性職員
	10:45~11:00		女性職員

2) 検査項目 (男女共通)

(1) 34歳以下及び36歳~39歳の者

身長、体重、視力、血圧、尿(糖、蛋白、潜血)、血液(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、貧血、肝機能(GOT、GPT、 γ -GTP)、血糖)、胸部X線撮影、聴力、腹囲、内科

(2) 35歳の者

(1) の項目に、心電図が加わる。

(3) 40歳以上の者

(2) の項目に、胃部X線撮影、便潜血反応が加わる。

3) 学内健診・人間ドック等の受診者数

		対 象 者	受 診 内 訳		受 診 者 数 (率)
			学内健診 受診者数	人間ドック・ 他医療機関 受診者	
上 田 キ ャ ン パ ス 等 事 業 場	役員・総務企画部・評価室	55	44	10	54 (98.2)
	研究交流部・地連センター・国際センター・ メディアセンター・三陸復興推進機構	121	106	8	114 (94.2)
	財 務 部	41	34	4	38 (92.7)
	学 務 部 ・ 大 教 セ ン タ ー ・ 保健管理センター・教員養成機構	66	58	5	63 (95.5)
	人 文 社 会 科 学 部	75	59	9	68 (90.7)
	教育学部、平泉文化研究センター	104	74	14	88 (84.6)
	工 学 部 ・ 工 学 研 究 科	185	156	18	174 (94.1)
	農学部・連大・寒冷FSC (上田キャンパス)	165	136	13	149 (90.3)
	技術部 (上田キャンパス)、RI総合実験室	60	53	1	54 (90.0)
附 属 幼 稚 園 事 業 場		13	13	0	13 (100.0)
附 属 小 学 校 事 業 場		40	39	1	40 (100.0)
附 属 中 学 校 事 業 場		30	30	0	30 (100.0)
附 属 特 別 支 援 学 校 事 業 場		38	38	0	38 (100.0)
寒冷フィールド (滝沢地区) 事業場		14	14	0	14 (100.0)
寒冷フィールド (御明神地区) 事業場		14	14	0	14 (100.0)
合 計		1,021	868	83	951 (93.1)

*学内健診受診者数868名のうち、雇入時健診受診済みのため定期健診時に胃と便検査のみ実施者は20名

4) 尿検査 (人間ドック・他の医療機関受診者を除く)

性 別	受 診 者 数	尿 蛋 白	尿 潜 血	尿 糖
		有 所 見 者 数 (率)	有 所 見 者 数 (率)	有 所 見 者 数 (率)
男	544	3 (0.6)	3 (0.6)	9 (1.7)
女	289	2 (0.7)	17 (5.9)	1 (0.3)
計	833	5 (0.6)	20 (2.4)	10 (1.2)

5) 貧血検査 (人間ドック・他の医療機関受診者を除く)

性別	受診者数	血色素量	赤血球数	貧血
		有所見者数 (率)	有所見者数 (率)	有所見者数 (率)
男	543	28 (5.2)	60 (11.0)	68 (12.5)
女	297	55 (18.5)	37 (12.5)	80 (26.9)
計	840	83 (9.9)	97 (11.5)	148 (17.6)

6) 肝機能検査 (人間ドック・他の医療機関受診者を除く)

性別	受診者数	G O T	G P T	γ -G T P	肝機能異常
		有所見者数 (率)	有所見者数 (率)	有所見者数 (率)	有所見者数 (率)
男	543	70 (12.9)	145 (26.7)	161 (29.7)	120 (22.1)
女	297	12 (4.0)	14 (4.0)	18 (6.1)	21 (7.1)
計	840	82 (9.8)	157 (18.7)	179 (21.3)	141 (16.8)

7) 脂質検査 (人間ドック・他の医療機関受診者を除く)

性別	受診者数	L D Lコレステロール	H D Lコレステロール	中性脂肪	脂質異常
		有所見者数 (率)	有所見者数 (率)	有所見者数 (率)	有所見者数 (率)
男	547	309 (56.5)	34 (6.2)	136 (24.9)	234 (42.8)
女	298	121 (40.6)	4 (1.3)	23 (7.7)	74 (24.8)
計	845	430 (50.9)	38 (4.5)	159 (18.8)	308 (36.4)

8) 血糖検査・胸部X線・血圧 (人間ドック・他の医療機関受診者を除く)

性別	血糖検査		胸部X線間接撮影		血圧測定	
	受診者数	有所見者数 (率)	受診者数	有所見者数 (率)	受診者数	有所見者数 (率)
男	547	167 (30.5)	540	4 (0.7)	545	75 (13.8)
女	298	37 (12.4)	292	2 (0.7)	297	19 (6.4)
計	845	204 (24.1)	832	6 (0.7)	842	94 (11.2)

9) 便潜血・胃・心電図（人間ドック・他の医療機関受診者を除く）

性別	便 潜 血 検 査		胃 検 査		心 電 図	
	受診者数	有所見者数 (率)	受診者数	有所見者数 (率)	受診者数	有所見者数 (率)
男	383	16 (4.2)	352	35 (9.9)	400	28 (7.0)
女	158	6 (3.8)	135	25 (18.5)	161	20 (12.4)
計	541	22 (4.1)	487	60 (12.3)	561	48 (8.6)

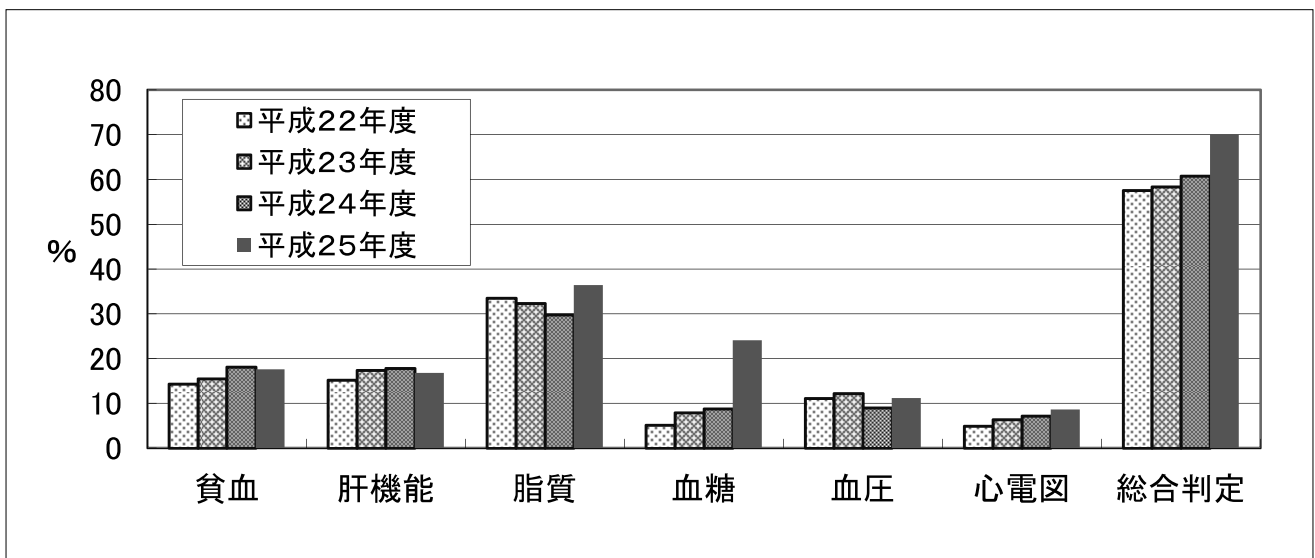
10) 総合判定（人間ドック・他の医療機関受診者を除く）

性別	総 合 判 定	
	受診者数	有所見者数 (率)
男	545	394 (72.3)
女	297	196 (66.0)
計	842	590 (70.1)

11) 事後指導

性別	対象者数	実 施 数 (率)
男	619	617 (99.7)
女	250	247 (98.8)
計	869	864 (99.4)

12) 検査項目別有所見者率の推移



13) 調査報告

平成25年度職員の仕事による疲労に関する調査結果報告

岩手大学保健管理センター

早坂 浩志

岩手大学安全衛生管理室

山田 識子

I 目的

「岩手大学における心の健康づくり計画」にある「ストレスチェックの実施」に基づいて、安全衛生委員会では平成23年度から職員定期健康診断時に仕事の疲労度に関するセルフチェックと調査を行い、チェック結果を個別にフィードバックすることで職員のセルフケアを促すことにした。調査は職員全体の仕事の疲労度傾向を把握することにより今後のこころの健康づくりに役立てることを目的としたものであり、以下は平成25年度の調査結果である。

II 方法

1. 調査用紙：仕事に関する疲労の測定は昨年と同様に厚生労働省（2004）が作成した「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」を利用した。これは自覚症状に関する13項目、勤務状況に関する7項目に回答することで総合的な仕事による負担度を判定するものである。回答した者がその場で仕事の疲労蓄積度をセルフチェックできる点が特長である。
2. 実施手続き：平成25年9月に実施した職員定期健康診断前に問診票とともに調査用紙を全職員に送付し、受診時に回収した。集計後、個別の疲労蓄積度の判定は説明と助言を添えて回答者本人宛に文書で通知した。
3. 回答者の概要

(1) 分析の対象となった回答者：847名

(2) 性別 男性：542名（64.0%） 女性：305名（36.0%）

(3) 職種

常勤教員：302名（35.7%） 事務系常勤職員：175名（20.7%） 技術系常勤職員：78名（9.2%）

非常勤・非正規職員：215名（25.4%） 附属校園教諭：75名（8.9%） その他（役員等）：2名（0.2%）

（2012年回答者内訳）

常勤教員：271名（33.3%） 常勤職員：237名（29.2%） 非常勤・非正規職員：223名（27.4%）

附属校園教諭：77名（9.5%） その他（役員等）：5名（0.6%）

回答者は昨年に比較して増加したが、常勤教員と常勤職員の回答の増加によるところが大きい。

III 結果と考察

1. 自覚症状評価、勤務状況評価、総合負担度判定の結果

(1) 疲労の自覚症状点（0-37点 N=847） 平均：7.25点（SD=6.90）（前回7.22点）

(2) 勤務の状況点（0-15点 N=847） 平均：1.92点（SD=2.83）（前回1.97点）

(3) 総合負担度点（0-7点 N=847） 平均：1.39点（SD=1.99）（前回1.38点）

(4) 総合負担度の判定（表1）

最近一ヶ月の総合負担度判定が「やや高い」以上の職員は約33%であった。全体としてはほぼ昨年と同様の結果となった。

表1 総合負担度点の分布と判定の結果

点数	人数	%	負担度判定	%	2012	2011
0	464	54.8	低い	67.0	66.2	66.8
1	103	12.2				
2	82	9.7	やや高い	16.1	17.3	18.0
3	54	6.4				
4	55	6.5	高い	9.9	10.1	9.3
5	29	3.4				
6	35	4.1	非常に高い	7.0	6.4	6.0
7	24	2.8				
計	846	100.0		100.0	100.0	100.0

2. 職種、性別による総合負担度の違い (表2、表3)

職種：表2に示すように、昨年に比べて常勤教員の負担度がやや下がり、附属校園教諭と非常勤職員の負担度がやや上がった。統計的検定の結果、職種により総合負担度の平均値に差があり (P<.01)、常勤教員は常勤職員や非常勤職員に比べ負担度が有意に高く、教諭は他のすべての職種に比べて負担度が有意に高い傾向があった (P<.01)。つまり教員や教諭、とりわけ教諭は他の職種に比べて仕事の疲労が蓄積されている方が多い可能性があり、この傾向は昨年と同様であった。

性別：性別による総合負担度の平均値に差があり、男性の方が負担度が高かったが (P<.01)、これは負担度が低い非常勤職員の多くを女性が占めているためである。この結果も昨年と同様であった。

表2 職種による総合負担度の平均値の違い

職種	人数	平均値	2012	2011
常勤教員	301	1.79	1.94	1.75
常勤職員	事務系	1.05	1.00	1.03
	技術系	0.87		
非常勤職員	215	0.48	0.37	0.51
教諭	75	3.67	3.43	2.57
計	844	1.39	1.38	1.34

表3 性別による総合負担度の平均値の違い

性別	人数	平均値	2012	2011
男性	542	1.60	1.57	1.50
女性	304	1.10	1.04	0.97
計	846	1.39	1.38	1.34

3. 職種による勤務状況評価の違い

時間外労働等の7項目の勤務状況に関する評価の回答は表4～表10のとおりであった。ほぼ昨年と同じ傾向を示して、全体としては、過重な勤務状況にある職員は多くなっていないといえる。

しかしながら、前項で述べたように、職種別にみると教員と附属校園の教諭の総合負担度の平均値は高い。その背景を明らかにするために、職種による勤務状況評価の違いを集計したものが表11～表17である。7項目すべてにおいて職種との間に統計的に有意な関連があった (P<.01)。教員は、時間外労働や不規則勤務、出張負担といった勤務時間関連の問題と精神的負担で負担を感じている者が他の職種よりも多いことがわかる。一方、附属校園の教諭はほとんどの項目で他の職種よりも負担を感じている者が多い。とりわけ、不規則勤務と深夜勤務負担を感じている者が昨年より約5%増加し、休憩仮眠体制の項目で負担を感じている者が約10%増加した。しかし一方で身体的負担を感じる者は10%以上減少したことは注目すべきであろう。

表4 時間外労働の評価

時間外労働	人数	%	2012	2011
ない・適当	568	67.5	66.4	65.7
多い	184	21.9	23.2	23.8
非常に多い	90	10.7	10.4	10.5
計	842	100.0	100.0	100.0

表5 不規則勤務の評価

不規則勤務	人数	%	2012	2011
少ない	677	80.3	81.5	80.1
多い	166	19.7	18.5	19.9
計	843	100.0	100.0	100.0

表6 出張負担の評価

出張負担	人数	%	2012	2011
ない・小さい	744	88.4	88.9	89.6
大きい	98	11.6	11.1	10.4
計	842	100.0	100.0	100.0

表7 深夜勤務負担の評価

深夜勤務負担	人数	%	2012	2011
ない・小さい	786	93.2	93.2	93.4
大きい	38	4.5	5.1	4.7
非常に大きい	19	2.3	1.7	1.9
計	843	100.0	100.0	100.0

表8 休憩仮眠体制の評価

休憩仮眠体制	人数	%	2012	2011
適切である	677	80.1	82.1	82.4
不適切である	166	19.9	17.9	17.6
計	833	100.0	100.0	100.0

表9 精神的負担の評価

精神的負担	人数	%	2012	2011
小さい	499	59.2	57.9	58.1
大きい	279	33.1	33.0	36.2
非常に大きい	65	7.7	9.1	5.7
計	843	100.0	100.0	100.0

表10 身体的負担の評価

身体的負担	人数	%	2012	2011
小さい	717	85.1	80.7	83.4
大きい	103	12.2	16.1	14.9
非常に大きい	23	2.7	3.2	1.7
計	843	100.0	100.0	100.0

表11 職種別時間外労働評価の職種による違い

時間外労働	常勤教員			教諭			常勤職員			非常勤職員		
	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012
ない・適当	150	50.0	46.6	13	17.3	18.2	211	83.7	79.8	194	90.2	93.3
多い	107	35.7	38.4	29	38.7	37.7	31	12.3	17.3	17	7.9	5.4
非常に多い	43	14.3	14.9	33	44.0	44.2	10	4.0	3.0	4	1.9	1.3
計	300	100.0	100.0	75	100.0	100.0	252	100.0	100.0	213	100.0	100.0

表12 不規則勤務評価の職種による違い

不規則勤務	常勤教員			教諭			常勤職員			非常勤職員		
	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012
少ない	209	69.4	67.5	39	52.0	55.8	223	88.5	92.0	206	95.8	96.4
多い	92	30.6	32.5	36	48.0	44.2	29	11.5	8.0	9	4.2	3.6
計	301	100.0	100.0	75	100.0	100.0	252	100.0	100.0	215	100.0	100.0

表13 出張負担の評価の職種による違い

出張負担	常勤教員			教諭			常勤職員			非常勤職員		
	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012
ない・小さい	221	73.7	75.8	68	90.7	88.3	242	96.0	94.9	213	99.6	99.1
多い	79	26.3	24.2	7	9.3	11.7	10	4.0	5.1	2	0.4	0.9
計	300	100.0	100.0	75	100.0	100.0	252	100.0	100.0	215	100.0	100.0

表14 深夜勤務負担の評価の職種による違い

深夜勤務負担	常勤教員			教諭			常勤職員			非常勤職員		
	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012
ない・小さい	278	92.7	89.7	49	65.3	69.7	247	97.6	98.7	210	98.6	99.6
大きい	18	6.0	9.2	13	17.3	17.1	4	1.6	0.9	3	1.4	0.4
非常に大きい	4	1.3	1.1	13	17.3	13.2	2	0.8	0.4	0	0.0	0.0
計	300	100.0	100.0	75	100.0	100.0	253	100.0	100.0	213	100.0	100.0

表15 休憩仮眠体制の評価の職種による違い

休憩仮眠体制	常勤教員			教諭			常勤職員			非常勤職員		
	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012
適切である	235	79.4	79.1	26	35.1	45.5	206	82.4	84.5	200	93.9	95.5
不適切である	61	20.6	20.9	48	64.9	54.5	44	17.6	15.5	13	6.1	0.5
計	296	100.0	100.0	74	100.0	100.0	250	100.0	100.0	213	100.0	100.0

表16 精神的負担の評価の職種による違い

精神的負担	常勤教員			教諭			常勤職員			非常勤職員		
	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012
小さい	140	46.5	43.5	20	26.7	27.3	155	61.3	58.7	184	86.0	86.2
大きい	131	43.5	43.9	38	50.7	48.1	86	34.0	35.4	24	11.2	10.8
非常に大きい	30	10.0	12.5	17	22.7	24.7	12	4.7	5.9	6	2.8	2.7
計	301	100.0	100.0	75	100.0	100.0	253	100.0	100.0	212	100.0	100.0

表17 身体的負担の評価の職種による違い

身体的負担	常勤教員			教諭			常勤職員			非常勤職員		
	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012	人数	%	2012
小さい	244	81.3	73.8	46	61.3	50.6	225	88.9	84.8	202	94.0	95.7
大きい	47	15.7	20.3	20	26.7	40.3	24	9.5	14.4	12	5.6	3.8
非常に大きい	9	3.0	5.9	9	12.0	9.1	4	1.6	0.8	1	0.5	0.5
計	300	100.0	100.0	75	100.0	100.0	253	100.0	100.0	215	100.0	100.0